

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2391500127
事業所名	グループホーム エム・ケア名東

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 町内会に加入している。 地域の盆踊りへの参加、近隣の保育園との交流などがある。 散歩時には、近隣住民との挨拶、声掛けなど、親しく交流している。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 併設の小規模多機能との共催で、地域住民代表、利用者、家族、いきいき支援センターなどでの開催をしている。 運営状況の報告、意見要望の聞き取り、検討すべき課題、各種報告、該当者挨拶など行っている。避難訓練などの見学や、実際に食事などともにとつての利用者の具体的な日常体験をして、意見、検討課題などへ繋げている。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 区福祉課など担当所管とは日常的に報告、相談など行い連携している。 いきいき支援センターとは、推進会議、「家族サロン」「歩け歩け」などイベントへの参加協力。 介護講座への「講師」は県協力などがある。 市の事業者講習会への参加がある。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 意見箱の設置がある。 随時での連絡、面会時、行事参加時での意見要望の収集、ケアへの反映がある。 家族のサービス担当者会議への必ず参加、推進会議の案内文書の送付、敬老会など施設行事への参加呼びかけなど、面会機会を増やす取組みがある。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	認 事 項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	—	—	×	×	○	○	○	○	◎	○	